

令和2年5月18日

発 言 者	発 言 要 旨
菊池 (大) 委員	<p>新型コロナウイルス感染症に関連して、学校再開後はカリキュラムをどうしていくかが課題だと思う。今後の学習指導計画の見直しはどうか。</p>
高校教育課長	<p>県立学校については、5月25日から授業の本格的な再開を目指すこととしている。カリキュラムについては、現時点で生徒に必要とされる学力を見定めるとともに、学習活動の工夫をしながら進めていく必要がある。例えば、一コマの時間を短縮し授業のコマ数を増やすなどの時間割編成を工夫し、その上で、学校行事を精査することや夏休みなど長期休業期間に授業の補充や講習を行う必要があるか各校で検討している。</p> <p>また、大切な観点としては、生徒及び教職員の負担が過重にならないように十分に配慮した上で計画するように指導している。</p>
義務教育課長	<p>小中学校についても、時間割編成や夏休みの短縮については同様である。</p> <p>文部科学省からの通知では、小学校1～5年生及び中学校1～2年生については様々な措置を講じた上でも、指導が難しいという場合には特例的な措置として令和3～4年度までの教育課程を見通して検討を行い、次学年又は次々学年に移して教育課程を編成するということが示されている。生徒や教員の負担が過重にならないことが大事と考えているため、それを踏まえて指導・助言していきたいと考えている。</p>
菊池 (大) 委員	<p>夏休みが短くなるとエアコンの設置について考える必要があるが、設置計画はどうか。また、計画を前倒しする可能性はあるのか。</p>
施設整備主幹	<p>県立高校のエアコンは今年度から3年かけて整備する計画である。今年度分の早期の整備を目指し、3月末から入札公告を始めているが、最も早いものでも8月末までが工期となっている。来年度以降整備するものも含めると、エアコンの整備を早急に完了することは、難しい状況にある。</p>
菊池 (大) 委員	<p>工夫した授業の実施が必要になると思うが、夏休みの短縮については、どのように検討しているのか。</p>
高校教育課長	<p>例年、夏季休業期間中は大学入試に向けた講習、資格取得を目指す講習等が組まれている。その期間を授業時間に充てることが、第一に考えられる。</p> <p>また、大学入試等を目指している3年生の夏季講習期間は1～2年生より長くなる。その時間も授業時間に充てる可能性があると考えている。生徒の負担や学習環境に配慮した計画とするように指導していきたいと考えている。</p>
義務教育課長	<p>小中学校については、状況を集約中である。いくつかの市町村の状況としては、当初7月23日頃から8月20日頃までを夏休みと考えていたが、8月8～16日を含む2週間程度に短縮するということも見られる。</p>
菊池 (大) 委員	<p>通常の授業が始まるとこれまでのオンライン教育の議論が後退するのではないかと。学校再開後におけるオンライン教育の進め方はどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
高校教育課長	<p>今後もオンライン教育を取り入れながら、教育活動を展開していく必要が高まっていると考えられる。実験実習等に代わり動画を作成し教材化するなどICTを通常の授業においても的確に組み入れながら、指導計画を見直し効率的、効果的な計画となるよう指導したい。</p>
義務教育課長	<p>新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備え、引き続き、市町村教育委員会とも連携しながら対応していきたい。また、県教育委員会の動画配信では、学校の授業とは異なり動画を止めて自分のペースで勉強ができること等を改めて感じた。そのことから、通常時においても学力向上の一つの手だてになるのではないかと考えており今後検討していきたい。</p>
菊池(大)委員	<p>GIGAスクールの加速化に向けて、市町村で県と同様に補正予算の措置を行っているところが多々あると思うが、市町村の現状はどうか。 また、県はどのように市町村に関与していくのか。</p>
義務教育課長	<p>3月時点の各市町村教育委員会における対応状況については、端末の仕様等について決めかねている状況であった。そのため、4月30日にGIGAスクール構想の説明会を開催し、三つの仕様を紹介し、今後の調達に向けた見通しやその方法を説明した。調達方法について再度調査しているところであり、今月中にはまとめたいと考えている。</p>
矢吹委員	<p>大学入学試験や高校入学試験は、これまでどおり実施するという前提に立って学習指導をしていくのか。また、オンライン授業を受講した場合、単位の認定はどうなるのか。</p>
高校教育課長	<p>現在のところ、文部科学省からは学習指導要領に沿って指導を行うことが通知されている。従って、県内の各中学校についても中学校3年生までに学ぶべき内容を学習指導要領に沿って学習できるように、学校行事も含めて今後の学習指導計画を見直していくものと考えている。 また、各校においてオンライン授業を行っているが、臨時休業期間中の学習は、あくまで家庭学習の支援という位置付けであり、授業の単位数には数えることができない。</p>
矢吹委員	<p>ICT端末については県全体で仕様を統一していかなければならないと考えているが、仕様や市町村の負担部分の考え方はどうか。</p>
義務教育課長	<p>県内で統一した仕様を活用することがベストであると考えが、すでに整備済みの自治体があり、市町村の状況を踏まえながら丁寧に対応していく必要がある。(基本パッケージで十分ではないかと考えている。) また、市町村の負担については、1台あたり県は4万5千円を上限とした交付金を予定している。上限を超えた場合、市町村が負担しなければならないことになっており、各市町村による持ち出しが発生する。</p>
矢吹委員	<p>そのようなことを前提とし、市町村教育委員会とも連携しながら統一的な部分で進めていくべきと考える。 今後、新型コロナウイルス感染症の感染者が仮に校内で確認された場合、どのよ</p>

発 言 者	発 言 要 旨
保健・食育主幹	<p>うな対応を考えているのか。</p> <p>学校において感染者が発生した場合の対応については、専門家より意見を聴きながら学校の具体的な対応を定め、各市町村教委、各県立学校へ周知している。県立学校において感染が判明した場合、速やかに県教育委員会、保健所、学校医に報告し、当該児童生徒の出席停止を指示することとし、校内消毒等の対策を講じることとしている。</p> <p>また、発生状況に応じて健康福祉部等の関係部局や保健所等関係機関と連携し、臨時休業の実施を含む対策を講じることとしている。</p>
矢吹委員	<p>各種競技大会が中止となっているが、どのような状況か。</p>
スポーツ保健課長	<p>大会等やこれまでの成果を発表するような場を設けるため、山形県高等学校体育連盟にて各競技の調査を行っている。運動部だけではなく、文化部活動についても同様に関係機関において対応を検討している状況である。</p>
菊池(文)委員	<p>新型コロナウイルス感染症が懸念される中で各資格試験の実施状況はどうか。</p>
高校教育課長	<p>現在のところ、英検や簿記などの検定については6月末に実施予定の試験が中止もしくは延期というような措置がとられている。</p> <p>また、海技士の国家試験については、海洋実習については乗船日数が定められ、船を停留させたままの実習や教室などで行った実習も乗船日数に数えることができるという弾力的な措置を講ずることができる旨、国土交通省から連絡があった。</p>
菊池(文)委員	<p>来春卒業予定の高校生に対する求人状況はどうか。</p>
高校教育課長	<p>6月1日から求人の申し込みが可能となっている。今般の情勢を踏まえ、申し込み時期を遅らせたり、求人の職種等に影響が出る可能性もあることから情報収集に努めている。</p>
菊池(文)委員	<p>本日から自動車運転免許証の更新等の手続きができるようになったが、スムーズに再開するための周知や広報の取組状況はどうか。</p>
参事官(兼)運転免許課長	<p>各種運転免許業務については、本年4月23日から一時的に休止していたが、本日から一部再開する。これらの周知については、5月14日の午後にマスコミ各社へ情報提供し、電話等での問い合わせの際に説明するほか、県警のホームページやツイッター等で実施している。さらに更新手続きの混雑状況については、5月中は県警のホームページやツイッター等で情報発信して混雑の緩和に努めている。</p>
石黒委員	<p>4月1日から5月13日の間、死亡事故は前年比6件増の7件という報道について、警察ではどのようにとらえているのか。</p>
参事官(兼)交通企画課長	<p>死亡事故の詳細は、歩行者と車両との衝突事故が2件、自転車利用者と車両との衝突事故が2件、小学生女児が自転車で川に転落した事故が1件、原付バイクの単独事故が1件、農作業中のフォークリフトの事故が1件である。</p> <p>県警察として、昨日までの3日間、緊急作戦として県内で速度違反や横断歩行者</p>

発 言 者	発 言 要 旨
石黒委員	<p>妨害違反等の取締りを強化した。その結果、速度違反の検挙件数が約 200 件となった。引き続き、取締りの強化を含めたマスコミ、ホームページやツイッターなどを通じた幅広い呼びかけをして交通死亡事故を減らす活動をしていきたい。</p> <p>山形県において、歩行者が横断歩道を渡ろうとしていても、車が止まらなると聞いている。今後、学校が本格的に再開し、子どもたちが登下校し始めた場合、大変な事態になりかねないと考える。ぜひ、教育関係と警察本部が連携をとりながら、子どもたちの命が交通事故で奪われるなどということのないようにしてほしい。</p>
参事官(兼)交通企画課長	<p>警察としては、朝の警戒強化を行っており、横断歩行者妨害取締り、スクールゾーンにおける取締り、速度取締りを含めて、街頭活動を強化し、通学児童が事故に巻き込まれない対策を進めたい。また、教育庁と連携しながら、児童生徒に対する働きかけを行いたいと考えている。</p>
石黒委員	<p>各学校では1学期の成績をどのように評価するのか。2学期の成績と合わせて評価するなど検討しているのか。</p>
高校教育課長	<p>高等学校では今頃はちょうど中間試験があり、7月に期末試験があるのが通例である。この度は、休業期間を考慮し、中間試験は実施せず、1学期の学習成績は、7月までを試験期間として評価することが考えられる。場合によっては試験期間を変更し、学習評価ができるような時期にテストを行うことも検討している。</p> <p>また、テストの成績だけではなく、その他の学習に対する取り組みなどを総合的に評価しながら、成績を評価していくことになると考えている。</p>
義務教育課長	<p>小中学校についても同様である。定期テストの実施について、法的な規定はなく、各学校の状況に応じて適切に行っていくと考えている。</p>
田澤委員	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各校において学習の進捗状況が異なる場合、県立高校の入学試験の出題範囲はどうなるのか。</p>
教育長	<p>現段階ではっきりしたことは申し上げられないが、1か月半ぐらいの休校であれば、夏休みの短縮等により、まだ例年どおりの状況に戻せるのではないかと考えている。現段階では、原則、全ての範囲の出題となることを想定している。</p>
田澤委員	<p>各学校においてICTのハード環境が整ったとしても、それを教員が有効に使うことができなければ効果が高まらないが、教員のICT研修の実施状況はどうか。</p>
義務教育課長	<p>ICTを活用した効果的な授業実践の実証研究に向けて、今年度から県内4地区の小中学校それぞれ1校、計8校をICT推進拠点校に指定している。また、4月中にICT教育推進協議会を開催し、当該市町教育委員会担当者を交え、今後の実践の方向性について研修を行った。各推進拠点校の実践については今後、授業の公開やICT活用の事例集の作成等を通じて、県内の教員のスキルアップにつなげていきたいと考えている。</p>